



発行責任者 齋藤隆靖 編集責任者 滝沢寿隆

2023年10月15日号

平和 働き、生活できる
人権 労働条件を獲得しよう

環境

ホームページ



メール

<http://unionpeace.main.jp/>info@unionpeace.main.jp

ユニオンネット平和センター（略称：ユニオン平和）

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 2F 労働相談室気付

TEL 070-6576-2071

FAX 03-5577-7263

11・23 沖縄県民大会に参加し
注目していこう！

沖縄・県民平和大集会

11月23日

奥武山公園陸上競技場

沖縄を再び戦さ場にするな！—沖縄・南西諸島からの訴えとして、現在、山城博治さん（沖縄を再び戦場にさせない県民の会・事務局長）は首都圏・東海・大阪・兵庫へと全国オグの展開中である。東京では文京区民センターで10月17日、共同テーブル第7回シンポジウムが開催され、訴えと報告がされた。山城さんは「私たちは米軍辺野古新基地建設を訴えて活動してきた。しかしここ数年、米軍ではなく自衛隊が前面に出て、沖縄の軍事要塞化に着手して来た。そして「安保関連三文書」によって、一気呵成に米軍は端役で自衛隊が前面に闘う体制が作られようとしている。地元自治体の態度も反対する側にも困難が付きまとっている。一方自衛隊基地建設に対して、宮古島、石垣島、与那国島に多くの市民団体ができ活動している。（略）いよいよ沖縄の反撃だ。8月8日に麻生自民党副総裁が訪台し、「日本、台湾、米国をはじめとした有志に非常に強い抑止力を機能させる覚悟が求められている。戦う覚悟だ」「金をかけて防衛力をもっているだけではダメだ。台湾海峡の安定のために使う明確な意志を相手に伝えて、それが抑止力になる」と暴言を吐いた。自民党の鈴木政調副会長はこの発言に対して「政府内部を含め、調整した結果だ」と述べた。中国は激しく反発している。（略）自衛隊が「敵基地攻撃能力」を実行するために長距離ミサイルを開発配備する事態に至れば状況は一変し緊張は高まる。最大の課題は、沖縄・南西諸島のへの射程1000km以上のミサイル配備を食い止めることだ。一触即発の軍事緊張を作らせない。

沖縄・南西諸島だけの問題ではない。熊本では自衛隊司令部の地下化、大分の弾薬設置など報じられている。「重要土地規制法」による指定区域が東京横田、神奈川座間、横須賀などでも具体化している。11・23県民大会は日本を戦場にさせない運動の出発点として全国に呼びかけたい。私たちは、力の限り闘っている。全国の皆さんが我がこととして共闘されんことを期待します。」と力強く訴えられた。

記：芝崎眞吾

平和・人権・環境



9.12 第6回共同テーブル開催



会場

「新しい戦前にさせない」共同テーブルが主催する第6回シンポが「マイナ保険証はらない」をテーマに、9月12日の夜、文京区民センターに120名を集めた。庶民の動向を丸ごと官民が管理する。高齢化は進み700万人を超え、近々に1000万人に迫る。高齢者にマイナカードの自己管理はできない。管理する代理人はいるのか？迫る課題を無視して、総背番号で管理するマイナンバーにNO! 専門分野で活動する専門家が声を発した。



シンポジウム

第7回共同テーブルは、11月17日

9.18 ミライ-さようなら原発集会

9月18日、福島汚染水放出開始への抗議行動が全国、全世界で展開され、東京の代々木公園などを中心に「さようなら原発」の集会が全国で持たれた。今年は気候危機(変動)



メインステージ

や再生可能エネルギーの問題にとりくんでいる市民や市民グループとコラボレーションして、脱原発をはじめ脱炭素、再エネ100%の社会を求める集会とパレードを取り組んでいく。

脱原発・気候変動運動のこれからパネルディスカッションでは、パネラーに、鎌田慧さん、小出裕章さんが語り、8000人がデモ行進に参加した。



デモ行進

9.28 原宿宣伝行動 ユニオン平和



芝崎原水禁幹事

ユニオンネット平和センターが山手線一周宣伝行動をした。28日の午後は原宿駅前。今回のテーマは二つ! ①福島第一原発事故による放射能汚染水の海洋放出反対! ②労働者賃実質賃金が30年間上がらない。最賃を全国一律1500円!、神宮外苑の森の伐採問題では桑田佳祐さんの「森のうた」を紹介し、10人がリレートークで訴えました。



汚染水放出反対

当日は、観光客など国外からの通行人が8割を占めていましたが、何をやっているかは分からなかったと思いますが、スマホでの動画撮影をしていました。次回宣伝行



原宿駅前

動は、11月24日(金)15:00から新宿駅東南口で行います。

9.30 労働講座開催

労働法制の現状と課題をテーマに、早田賢史弁護士を講師に迎え「労働講座」が東京千代田区で開かれた。講座は全国にズームで配信した。今日の労働実態の特徴は、少子高齢化、人手不足、長時間労働などで「労働者の命と権利」が奪われている。講座は、「フリーランス新法」「雇用の金銭解決(首切り自由)」に焦点を絞り話しまし。フリーランスを労働者としな



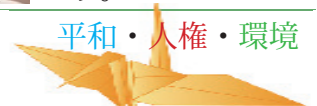
早田弁護士



本部会場

政府の姿勢に対して、労組法の労働者として取り組んでいこう。

平和・人権・環境



10.2 JAL闘争東京準備会

9月28日には、毎月行っている18回目の青空チャンネルが放映された。9月28日には、錦糸町駅前「JALは解決を先延びさせず、真摯に早期解決をすべき」と訴えた。

10月2日には、JAL闘争東京準備会が開かれた。竹信三恵子さん(ジャーナリスト)を迎え「個別労組を超えた労働運動の必要性」をテーマに学習会を進められた。続いて、JAL労使交渉・都



竹信講師



会場

労委報告が山崎書記長から報告がされた。JAL12年の闘いから支援者など会場は参加者で埋まった。



追悼式典

9.24 関東大震災100年

9月24日、「100年前何があったのか」をテーマに千葉で開かれた。戦前の習志野は、陸軍の多数の部隊と施設が集まっていた。第一次大戦後にドイツ捕虜収容所が設置された。



小園講師

捕虜帰国から「陸軍習志野支那人、朝鮮人収容所」と改名、3年半後の関東大震災発生では、3700人の朝鮮人、中国人が押し込まれ、一部が虐殺された。千葉県における関東大震災と朝鮮人犠牲者追悼・調査実行委員会の小園崇明さんの講演は当時を明らかに、殺された人たちを追悼した。当日は、2回の講演が開かれ、100名が参加した。過去を打ち消す動きを止めよう。



会場

10.5 連合は首相を大会に呼ぶな

10月5日の連合定期大会で岸田首相が挨拶した「経済の熱は賃上げだ。賃



連合大会

上げの大きなうねりを持続的なものにする。賃上げ、そして人への投資による経済の好循環を実現。皆さま方とコミュニケーションを密にとります」。



連合会長

これに微笑んで芳野会長が答える「政労の対話も実現されるべきだ。連合は対話の窓を常にオープンにして取り組んでいく」。しかし、格差と貧困にあえぐ労働者の思いを否定。もはや連合に明日はない。連合は首相を大会に呼ぶな！



岸田首相

10.5 横須賀空母母港化50年抗議集会

1973年10月5日に、米海軍が横須賀基地に空母ミッドウェーを配備してから、50年の10月5日、横須賀市ヴェルニー公園で、米軍空母母港化反対全国集会が行われました。集会前段に平和フォーラム全国責任者会議があり、全国各地で奮闘している関係者を含めて800人が結集し、横須賀の米原子力空母の母港化反対し、今後もその闘いを強化することを確認しました。



滝沢事務局長

集会後、横須賀市役所前公園までデモ行進を行いました。



デモ行進

ユニオン平和から滝沢事務局長が会議と集会に参加しました。



10.4 沖縄全国キャラバン



会場

10月4日山城博治さん(元沖縄平和運動センター議長)

の講演が開催された。山城さんは「沖縄を再び戦場にさせない」思いを訴え、全国キャラバンを続けている。今回、首都圏を回り、千葉に来県、沖縄や南九州、南西諸島では自衛隊基地が新增設され、日本政府は「安全保障環境が大きく変わった」として、中国を仮想敵国として非難を続ける。



山城さん

「台湾有事」で中国とアメリカの戦端が切り開かれると、日本にある米軍基地や自衛隊基地は最前線になる。とりわけ台湾と目と鼻の先にある米軍基地が集中する沖縄は真っ先に攻撃対象になる。それは絶対に止めなければダメだ。「平和なくして人間の生存なし」、山城さんの平和運動パワーが炸裂した。

麻生太郎自民党副総裁は「戦う覚悟=(死ぬ覚悟)を持って。」、ネットでの沖縄批判などがあるが、南西諸島、沖縄に「中国と闘う」声などない。沖縄を戦場にさせない「声」が圧倒している。この闘いを支援しよう。

第12回すけっちぶっく18展

千代田区九段のギャラリーに足を運ぶ、「第12回すけっちぶっく18展」が待っていた。

60点の水彩画が声をかけてくれた。



この展示会には、お互いさまの組合員の大岩さんも毎回、作品を出品している。お互いさまのニュースの表紙にも毎回掲載されている。水彩画が独特の筆のタッチにみほれた。



九段の展示会場

展示会は10月8日から14日まで開催され、久々に、こころの選択をした。



ユニオン平和に参加しましょう

ユニオン平和は、フォーラム平和・人権・環境に加盟しているユニオンの集合体です。平和・人権・環境に係わる諸課題の理論・情報・行動を発信していきます。

加入は、団体、サポーター会員として、個人単位での加入もお願いしています。

是非ご参加ください。

会費一年会費

団体：一口 1000円

個人：一口 1000円

※団体個人とも、可能な方は複数口お願いします。

※サポーター会員証を発行しています

平和・人権・環境

